

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

December
ISSUE



December, 2023
Volume 140

一年の実りを言葉に込めて



早いもので、子どもたちの日焼けした顔を嬉しく迎えた8月末から時が経ち、いよいよ一年の締めくくりである師走となりました。お子様、ご家族の皆様にとって、2023年はどのような一年でしたでしょうか。

この時期に私がいつも気になるのは、その一年の「流行語大賞」と「今年の漢字」です。担任をさせていただいていた際には、子どもたちと「流行語大賞の候補には、こんな言葉があるらしいよ。どれが大賞になるかな。」「今年の漢字一字は何になると思う?」と予測をしたものです。2003年に阪神タイガースが優勝した年は「虎」でしたので、日本一になった今年も「虎」かもしれません。6年生の子どもたちに聞いてみると、「戦」。ロシアとウクライナ、イスラエルとハマスの戦争があったから、というのがその理由でした。皆さんは、ご自身の一年を漢字一字にするとしたら、何を選べますでしょうか。皆さんがこの一年を振り返り、笑顔で年末を迎えられることをお祈りしております。

12月は“リフレクション”の時期でもあります。私がこの一年ニュースを見たり様々な経験をさせていただいたりする中で、心に引っかかったのは「言葉」の中でもその使い方についてです。「SNSでの誹謗中傷」もその一つで、7月に著名な方が自ら命を絶つという痛ましいニュースがありました。自分や他者のアイデンティティについて「その人らしく生きることの大切さ」を熱心に伝えていらっしゃる方でしたので、大変残念だったとともに、やはり人を追い詰める言葉の使い方、大変危機感を持ちました。私自身も含め、

皆ICTの恩恵を受けて生活しています。相手の顔を見ずに送信された言葉が、場合によっては剣になってしまうことの恐ろしさを、私たちはしっかりと肝に銘じておかねばなりません。

海外で興味深い検証実験がなされました。無作為にグループを2つに分け、テストをしました。どちらのチームも結果に差はなかったのですが、片方のチームには「よくできていました。」と、もう片方のチームには「できていませんでした。」と伝えます。次に2回目のテストをし、成績を比べると、明らかに「よくできていました。」と言われたチームの方が成績が良かったというのです。人が第2言語を学ぶ際に「自分にはできない。」「苦手だ。」とってしまうと、その言語の習得の妨げになるとの仮説（情意フィルター仮説）を唱えている学者もいます。「言葉というのはやはり力がある!」と考えさせられるお話でした。

言葉は使い方次第で人を勇気づけ、モチベーションを高めたり、人と人の絆を深めたりします。「初めに言（ことば）があった。言は神とともにあった。言は神であった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。」(ヨハネによる福音書1章1節~5節)をいつも心に刻み、私も子どもたちと共に言語感覚を磨く新年でありたいと思います。末筆になりましたが、皆様が素敵なクリスマスと新年をお迎えになれることを心よりお祈りしております。 副校長 ロハス 亜紀



キリスト教教育 12月：喜び December：Joy

聖書：『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす
いけにえや供え物よりも優れています。』

マルコによる福音書 12章 33節（聖書協会共同訳）

クリスマス・ツリーに明かりを点す季節がやってきました。現代ではイルミネーションを用いることが多いですが、昔はろうそくの炎でした。
そこで今月は、ろうそくにまつわる、ある男のお話をご紹介します。スウェーデンのノーベル賞作家、セルマ・ラーゲルレーヴ
(Selma Lagerloef 1858-1940) が書いた「ともしび」という小説で、実話が元になっています。

昔、イタリアのフィレンツェに、ラニエロという名の、手の付けられない乱暴者がいました。ケンカに強く力自慢の彼は、いつも自分の勇気と
豪傑ぶりを、周囲から誉めそやされることを望んでいました。やがてそれには兵士となって手柄をたてることが一番であると考え、彼は絶えず戦
に出かけていくようになります。そして戦利品を手に入れるたび彼はそれをフィレンツェの聖堂に持っていき、供え物として捧げていました。

時のヨーロッパは「エルサレムにあるキリストの墓をイスラム教徒から奪い返す。」という大義を掲げてキリスト教徒が十字軍を編成し、数多くの
兵士らがエルサレムへ出征していました。ラニエロもここぞとばかりに十字軍に加わり、懸命に戦いました。

さて、この十字軍がエルサレムを攻め落とした日の晩、兵士らは盛大な祝いの宴を催しました。中でもラニエロは、今回の戦で一番の手柄をた
てたので得意満面でした。数ある戦利品の中でも一番値打ちがあるとされたのが、キリストの墓の前に燃えている灯でしたが、それを最初にろう
そくに移すという栄誉を、ラニエロは与えられたのでした。

やがて仲間のうちの一人が、こんなことを言いました。「いくら何でも今度だけは、その灯をフィレンツェの聖堂へ持って行って、お供えするわ
けにはいかならう。」

ところが負けん気の強いラニエロは、こう叫んでいました。「ようし、この灯は俺一人でフィレンツェまで運んでみせてやる！」
最初ラニエロは、灯一本運ぶくらい、簡単なことだと考えていたのです。いつものように鉄の鎧を身に着け、刀と棍棒を持ち、予備の長いろうそ
くの束も結わえ付けて、遅い馬にまたがりました。けれどもそのうち、灯を消さないように運ぶのはとても難しいということに気が付きまし
た。なぜならほんの少し馬が早足になっただけでも、炎は揺らめいて消えそうになったからです。

やがて郊外の寂しい山道にさしかかった時、ラニエロは山賊たちに取り囲まれました。日頃の彼ならばもちろん難なくやつつけられる相手でし
たが、灯を守りたい一心で、抵抗せずに持っているものを全て山賊たちにやっしまいました。一文無しになった彼は船で海を渡ることでもできず
に、そこからはシリアからコンスタンティノープルへ、更にその先を延々とフィレンツェ目指して進んでゆかねばなりません。たったひと
吹き風、ひとしずくの雨でも灯は消えてしまうのですから、想像を絶する苦しい毎日でした。ラニエロにとって、こんな弱いものを必死で守
ろうとするなんて、生まれて初めての経験でした。

この灯を守る道中で、彼は危うい所を色々な人に助けられます。ある時は、これ以上取り替えるろうそくが無くなって茫然としていたら、旅の
老女が自分の持っているろうそくをくれました。またある時は疲れて眠り込んでいる間に雨が降り出し、あわやろうそくは消えたかと思いきや、2
羽の小鳥が炎の上で翼を広げて飛び交っていたお陰で助かりました。

このように、以前の彼ならば見向きもしなかった弱い存在に支えられながら灯を守る旅を続けているうちに、ラニエロは戦での数々の手柄や戦利
品のことなど、もうどうでもよくなりました。ラニエロはいつのまにか荒々しい戦よりも、優しくて和やかなものを喜ぶようになっていました。

長かった旅もようやく終わりに近づき、ラニエロは故郷のフィレンツェにたどり着きましたが、ぼろぼろの服を着て痩せ馬にまたがり、昔の
見の影もない彼の姿を見た町の人々は「パッツォ」と呼びました。イタリア語で気が変な人、という意味です。けれどもラニエロは、その長旅で守
り抜いた灯を、無事に聖堂の祭壇に灯すことができました。彼に投げつけられた「パッツォ」という嘲りの言葉は名誉のしるしとして、長くラニ
エロ一族の称号となったそうです。

ラニエロは武器を振り回して何人もの人を倒す行為よりも、たった一つのか弱い灯を守り抜く行為のほうが遥かに勇気のいることを学びまし
た。「イエス様は救い主。」これがクリスマスのメッセージですが、イエス様は強い軍隊を持って人々を救われたわけではありません。あくまでも
柔和で、寛容な心であらゆる階層の人々と付き合い、全ての人を愛し抜くことによって、神の国がどのようなものであるかをお示しになりまし
た。飼ひ葉桶の中に寝かされた赤ちゃんのイエス様は、この世界にもたらされる救い・平和というものが一見無力で、か弱い存在の中にこそあ
る、ということをお示しに示してくださっているのです。

Christian Education Committee チャブレン 石川眞弓

※以上は11月24日（金）の点灯式礼拝で行ったメッセージに加筆・修正したものです。

絵本版「ともしび」（原作ラーゲルレーヴ）

<お知らせ>

・11月30日（木）同志社国際学院内「同志社創立記念礼拝」

児童版「同志社大学設立の旨意」の朗読や、ピアノとヴァイオリンによる
「同志社に関するオリジナルソング」
の生演奏を行いました（児童・教職員向け）。

・12月8日（金）同志社国際学院初等部クリスマス礼拝（全校礼拝とクリスマス・ページェント）

ページェント第1部 9:30-11:00（児童・教職員向け）

ページェント第2部 13:00-14:45（3年生保護者とそのご家族・ご友人向け）

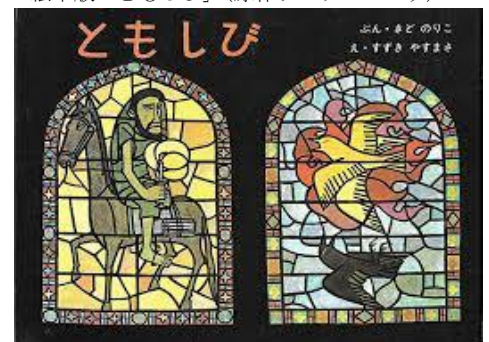
3年生によるキリスト降誕劇で、DIA有志アンサンブルの讃美歌伴奏やDiamond Choirの合唱があります。

礼拝メッセージは刀祢館美也子氏（広島女学院中学・高等学校聖書科講師、日本キリスト教団牧師）です。

※駐車券は3年生保護者と一部SGにのみ配付されます。

・12月12日（火）おにぎり献金

岩手キリスト教学園認定こども園宮古ひかり、福島県の若松聖愛幼稚園、熊本県の慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、日本ユニセフ協会「ウクラ
イナ緊急募金」・「トルコ・シリア大地震」を覚えて、献金を捧げます。賛同していただける方は、お子様に献金をお持たせください。



G5 宿泊学習 ～東京・群馬～ ～G5 Overnight trip to Tokyo and Gunma～

5年生は、10月11日(水)～13日(金)の3日間で、東京と群馬へ宿泊学習に行ってきました。この学年は、1年生時の校内合宿は台風の影響で日帰りとなり、2,3,4年生時には新型コロナの感染予防の為に実施不可になり、宿泊学習を経験しないまま高学年になったので、子ども達は今回の実施をととても楽しみにしており、行く前からワクワクする気持ちを押さえられない様子でした。

この3日間には、たくさんの学習目標が盛り込まれていました。①富岡製糸場で日本の工業発展の礎を知ること、②新島襄の故郷である群馬県安中市での足跡をたどること、③東京で日本の政治や科学の発展を知ること、の3つでした。

富岡製糸場では、工場での品質の良い生糸の作り方や、レンガ造りの建物の構造、工女を中心とした賃金の設定や働き方の確立等から、日本の近代化がどのように加速されていったのかを、実物を見ながら感じる事ができました。



安中市では、新島学園との交流や天然醸造醤油造りの有田屋を訪問しました。新島学園では、生徒会によるクイズや合唱、ハンドベル演奏で歓迎していただきました。DIAの子ども達は、探究学習の一部を紹介し、大きく立派なチャペルで中学生に向けてプレゼンテーションをする機会を得られました。そして、有田屋では新島学園の理事長もされている湯浅康毅さんが、わざわざ時間を割いて説明して下さる機会に恵まれました。群馬県安中市に根付いた新島襄先生の基督教の種が、今も脈々と引き継がれ発展を遂げていることを熱く語って下さり、子ども達はとても感動していました。



東京では、政治の中心である国会議事堂や、日本科学未来館で子ども達の探究心がかき立てられ、見学時間が足りないと感じるほど興奮した滞在となりました。



どの活動でも、DIAの子ども達らしく、とても興味を持ってメモをたくさん取り、質問が絶え間なく続く様子が見られました。そして、個人活動だけで頑張ったのではなく、グループや部屋のメンバーと共に常に協力して行動できたことも大きな収穫だったと言えます。集団の中で自分の役割を認識し、責任を持って行動することは普段の学校生活でも学んでいますが、学校を飛び出し社会の中にあってもその姿勢を示せたことは、5年生がしっかりと成長してきた証ではないかと感じました。宿泊をするという表面的な楽しみだけでなく、友達と一緒に学習や生活を充実させることで感じられる達成感や、自分自身の成長を実感することの喜びを得られたと思います。これからの学校生活でも、今回の宿泊学習でできたことを更に成長させ、自分達が前進していることを常に認識し、子ども達が自信にしていけるだろうと、期待の持てる3日間となりました。





おしらせ

クリスマスのおはなし

1年とは早いもので、今年も残すところあと1か月となりました。冬休みがはじまり、クリスマス、お正月と素敵なイベントがまっています。

数多く所蔵のあるイベントの本の中から、今月はクリスマスの本をご紹介します。

『クリスマスものがたり』

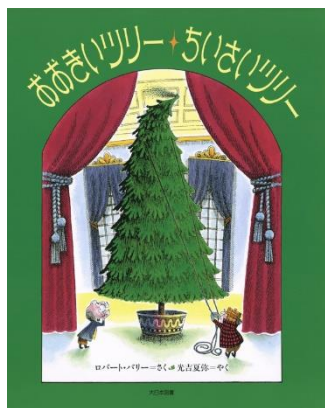
藤本朝巳/文 パメラ・ドルトン/絵 日本キリスト教団出版局



生まれたばかりのおさなごが飼い葉おけで静かにねむるのを、じっと見守るマリアとヨセフと家畜たち。マリアのもとにあらわれた、天使ガブリエル、ひつじかい、三人のはかせたち。クリスマスものがたりの登場人物たちが、美しく描かれています。この絵本は、イエスさまのお誕生の希望と喜びを、切り絵の手法で細部までていねいに表現し、生命力あふれる作品に仕上がっています。

『おおきいツリー・ちいさいツリー』

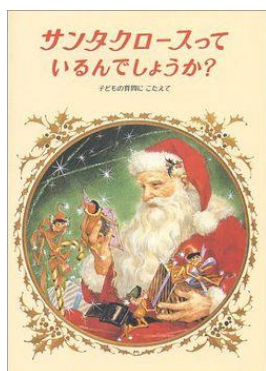
ロバート・バリー/作 光吉夏弥/訳 大日本図書



ウィロビーさんのおやしきにとどいた大きな大きなツリー。大きすぎて、さきっぽを切りました。そのさきっぽがまた切られ、どんどん小さくなって……森の動物たちも大よろこび！
アメリカで長く愛されてきた、かわいらしいクリスマス・ストーリーです。いろいろな動物が登場するくりかえしの展開は、読み聞かせにぴったりです。英語版の所蔵もご紹介します。

『サンタクロースっているんでしょうか？』

フランシス・P・チャーチ/著 中村妙子/訳 偕成社



「サンタクロースってほんとうにいるの？」子どもたちからこんな質問を受けたら、大人はどんな風に答えたら良いのでしょうか。

今から100年以上前、8歳のバージニアという少女が、アメリカの「ニューヨーク・サン」新聞社に手紙を出しました。この本は、その1通の手紙と、手紙に対する新聞記者のお返事を記録した一冊です。

12月の主な行事・予定

1	金	私小連人権教育研修会/Human rights education workshop
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	Unit5(week3)
6	水	委員会活動/ Students'committee
7	木	
8	金	クリスマス礼拝/Christmas worship service ページェント/ G3 pageant
9	土	
10	日	
11	月	SPT カンファレンス/ SPT Conference (午前授業/ AM lessons)
12	火	SPT カンファレンス/ SPT Conference (午前授業/ AM lessons)
13	水	SPT カンファレンス/ SPT Conference (午前授業/ AM lessons)
14	木	SPT カンファレンス/ SPT Conference (午前授業/ AM lessons)
15	金	SPT カンファレンス/ SPT Conference (午前授業/ AM lessons)
16	土	
17	日	
18	月	午前授業/ AM lessons
19	火	終業礼拝(午前授業)/ Closing worship service (AM lessons),
20	水	冬季休業 (2024年1月8日まで) Winter Vacation
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

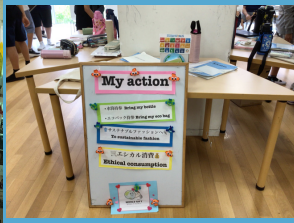
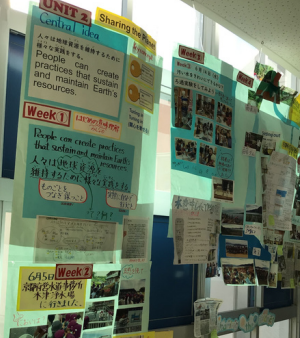
1月の主な行事・予定

1/9(火)	始業礼拝 (午前授業)
12(金)	引き渡し訓練 (1・3・5年生)
23(火)	校祖永眠の日 (休)

PYP Corner

December 2023

PYP in Action



The Learner Profile Attributes

In this edition, we are excited to delve into the Learner Profile Attributes, an integral part of the International Baccalaureate (IB) Primary Years Programme (PYP). These attributes are at the heart of our educational approach, shaping the way our students learn and grow.

Inquirers: Our students are curious and eager to learn. They ask questions, investigate, and develop their own understanding.

Knowledgeable: We encourage our learners to explore a wide range of subjects, nurturing their love for learning and deepening their knowledge.

Thinkers: Critical thinking and problem-solving are central to our program. Our students analyze and evaluate information to make informed decisions.

Communicators: Effective communication is a key skill. We empower our students to express their ideas and feelings in multiple ways.

Principled: We instill values and ethical principles, promoting integrity and responsible behavior in all aspects of life.

Open-Minded: Embracing diversity and different perspectives, we foster empathy, tolerance, and a global mindset.

Caring: Our students are compassionate and show empathy for others, contributing to a more harmonious world.

Risk Takers: We encourage our learners to take risks, face challenges, and stand up for what is right.

Balanced: Striking a balance between different aspects of life, our students lead a healthy and fulfilling lifestyle.

Reflective: We promote self-awareness and encourage our students to evaluate their experiences, seeking personal growth.

Throughout the school year, our teachers will focus on these attributes, helping our students develop them further. We encourage you to support this development at home and discuss these attributes with your children.

Stay tuned for more updates and thank you for your continued support in helping our students embody the Learner Profile Attributes.